

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予察 防除情報第8号

かんきつ かいよう病の防除対策について

九州北部は梅雨明けしたものの、台風襲来等の強風雨による急速な感染拡大が懸念されるため、今後の気象の推移に警戒が必要である。

記

1. 発生状況

(1) 7月前期の巡回調査(36筆)の結果、発病葉率は1.2%(平年 0.1%)、葉での発生圃場率は36.1%(平年 9.2%)、発病果率は0.4%(平年 0.0%)、果実での発生圃場率は22.2%(平年 2.3%)と平年より多い発生であった(図1、2、3、4)。

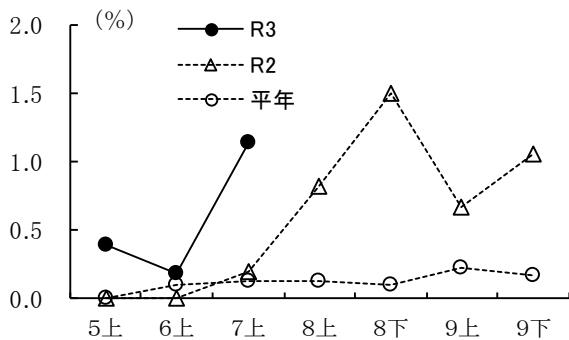


図1 かいよう病・発病葉率 (月・旬)

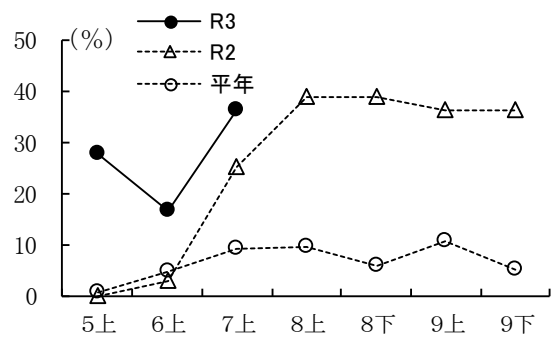


図2 かいよう病(葉)・発生圃場率 (月・旬)

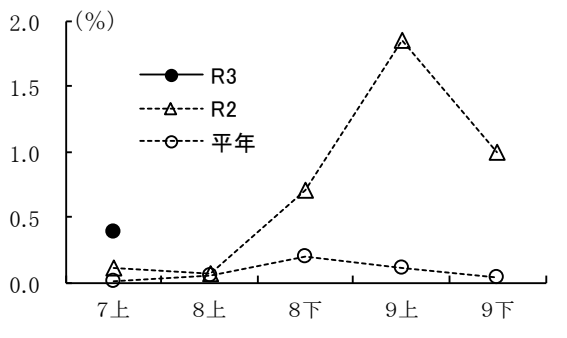


図3 かいよう病・発病果率 (月・旬)

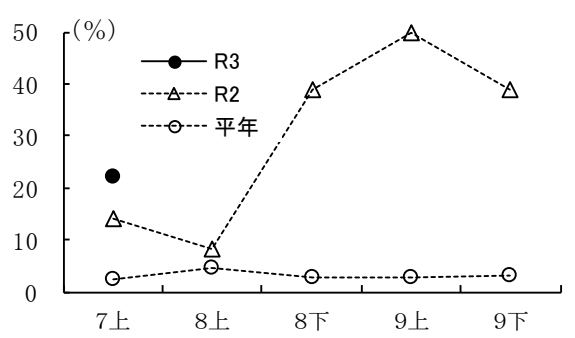


図4 かいよう病(果実)・発生圃場率 (月・旬)

2. 防除対策

- (1) 発病枝や葉は伝染源となるのでできるだけ除去する。
- (2) 強風による傷から感染しやすいので、今後の気象状況に注意し、台風が予想される場合は台風接近前に薬剤散布を行う。
- (3) 銅剤は高温期に散布すると薬害を生じることがあるため注意する。また、薬害防止のため農薬のラベルに従い、炭酸カルシウム水和剤(クレフノン等)を混用する。
- (4) 各品種による耐病性は下表のとおりである。耐病性が弱い品種は特に注意する。

表 かいよう病に対する各品種の耐病性（長崎県病害虫防除基準より）

耐病性	品 種 名
弱い	グレープフルーツ、ネーブル
やや弱い	ナツダイダイ、宮内イヨカン、天草、ありあけ
中程度	温州みかん、清見、不知火、南香
強い	ハッサク、ポンカン、ユズ、キンカン、日向夏

○6月から8月までの3か月間を「農薬危害防止運動月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所） T E L : 0957-26-0027

